

# 広島市議会ひろしま清風会

ひろしま清風会事務所

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1丁目6-34 TEL 504-2908 FAX 243-0534

なが た ま さ のり

# 永田 雅紀

明るい未来にむかい自信と勇気を持って活動します！

# 市議会だより

広島市議会議員

発行・編集 永田雅紀 事務所 令和7年12月吉日発行  
事務所 〒730-0822 広島市中区吉島東1丁目9-5-202 TEL・FAX(082)247-6437  
e-mail:info@nagatamasanori.com https://www.nagatamasanori.com



## ご挨拶

時下、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より広島市議会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

さて、本年は昭和100年にあたり広島市は被爆80周年を迎えました。ヒロシマの世界恒久平和への願いが拡げ伝え続けられる傍らで、紛争は絶えなく、極東有事の地政学的な脅威もくすぶり続ける年となりました。また、変化し続ける世界情勢の中、国内においては円安によるコストプッシュ型の物価高が続き、国民生活は大きな影響を受け、高市政権の早期の対応に期待が集まっています（令和7年10月末現在）。広島市においても事業費が増額するなどで事業の採算性が問われています。とりわけ生活困窮者に対しては支援体制強化が急務であり、市政運営は市民生活のレベルを落とすことなく、人口減少を織り込んで合理的な施策を打てるよう力を尽くしていきたいところです。

皆様の声は力です。引き続きお役に立てるよう頑張ってまいりますので、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

広島市議会議員 永田雅紀



## 令和7年 第2回定例会（一般質問）

### 平和について

**質問** 広島市が取り組む被爆80周年の取組について、意義あるものは次年度以降も継続していくべきではないかと思いますが、どうお考えでしょうか。



**答弁** 実施後の成果等を検証した上で、次年度以降も継続して取り組むことを各局・区等において検討するとともに、平和文化の振興に資する取組については、行政だけでなく市民や企業等も含めた全市民的なものとして展開していくため、被爆80周年を契機として、これまで以上に民間主体の取組への支援を行っていきたいと考えています。

**質問** 海外に向けてアニメーション、記録映像などのDVDの貸し出しを行っておられるようですが、多言語化・メディア媒体の更新、また、古いものが多くなっており被爆80周年を機に動画の作成も考えてみてはいかがかだと思いますか。

**答弁** 今後、新たに海外向け映像資料等を導入する際には、可能な限り多言語化に配慮するとともに、広島平和文化センターにおいては、被爆80周年を契機として、若い世代の平和学習を一層推進するため、映像等を用いた多言語対応の海外向け平和学習用教材の開発を進めることとしています。

### 人口減少社会を見据えた街づくりについて

**質問** 広島市からの転出超過は何が原因と分析されているのか。

**答弁** 本市の転出超過は、様々な就労希望に応えられる環境や、学生・若者の定着につながる環境、女性が活躍できる環境、子育てを応援する環境の4点についての課題が要因となっていると考えています。

**質問** 集住などを進め、経済を委縮させること無く、暮らしやすいまちを再構築する事と一人当たりのGDPを向上させる事こそが必要になってくると考えられますが、どの様にお考えなのかお伺い致します。

**答弁** 本市の拠点性を強化していく必要があると考えており、総合戦略に基づき、都心や都心周辺部における高次都市機能の集積、利便性の高い公共交通ネットワークの構築といった、集約型都市構造への転換に向けた取組を始めとした「魅力と活力あるまちづくり」に取り組んでいるところです。

### ■ 次期交通計画作成に当たって路面電車の利便性向上等について

**質問**

路面電車の循環線の目的、工事を遅らせた理由を改めてお伺いいたします。また、駅前大橋線の開業後、路面電車が通っている荒神橋において廃止となる軌道敷を活用し、車道を正規の片側2車線にしたうえで、右折車線の設置や歩道の拡幅など、幅員構成の変更を検討されるのかお伺いいたします。



**答弁**

既存路線を活用して市内中心部を環状で結ぶことで、沿線地域の利便性を確保するほか、世界遺産の原爆ドームや平和記念資料館等を相互に繋ぐことで回遊性の向上などを図るものであります。

**質問**

人口集中地域のデルタ部の公共交通を地下鉄を持てず、バスと、路面電車が担うのであれば、その主要な交通手段の一つである路面電車の定時性・速達性を早期に実現する必要があるという認識は、お持ちなのでしょうか。お伺いします。

**答弁**

定時性・速達性を損なうという課題があるものと認識しており、これまでも事業者や関係機関と連携して様々な取組を行ってきており、今後も引き続き推進していきたいと考えています。

### ■ アストラムラインの延伸と西風新都について

**質問**

事業計画見直しで、利用予定者が、減少した要因を教えて下さい。また、延伸の利用者予測を行うに当たり、人口増加を見込んでいる新たな団地はあるのかお伺いします。



**答弁**

予備設計でカーブの大きさや勾配に修正があり、減速することになったことにより現行区間から延伸区間へと転換すると見込んでいた利用予定者数を減少させたため、延伸区間の利用予定者数が減少したものと考えています。また、人口増加を見込む新たな団地としては、善當寺地区、梶毛西地区、大塚上・下地区及び石内地区に造成されるものを見込んでいます。

**質問**

善當寺の開発は、民間企業が倒産した事により開発が頓挫してしまい、開発事業者誘致の為、開発の軸を通すということで、環状道路を先行建設しておられますか、令和6年度末までの事業費と進捗率についてお伺いします。

**答弁**

現在、道路整備の進捗率が約3割に達したことから、複数の民間事業者から開発についての問い合わせが来ているところです。

**質問**

これから出来る梶毛西地区と既存の伴南、梶毛東住宅団地にとっても、高速4号線は利用が多い路線で、主に、職住のパイプとしての位置づけとなるはずです。高速4号線のバス路線やアストラムラインのデルタ部を含む延伸など、充実した公共交通を生かすることで、西風新都の発展、ひいては、本市の発展があると考えますが、如何お考えでしょうか。

**答弁**

広島高速4号線については、西風新都と都心を結ぶ基幹路線として、西風新都に住み、働く方々等の移動を支える重要な役割を果たしているところであります。需要に応じた機能強化が求められているところです。デルタ部を含む延伸は答弁なし。

### ■ ピック病についてお伺いいたします。

**質問**

ピック病を含めた認知症について、広島市としての周知・啓発や医療的な支援体制はどのようにになっているのか、お伺いいたします。

**答弁**

本市では、170名の「認知症サポート医」と、386名の「認知症かかりつけ医」が活動しているところであります。今後も、認知症の人を適切な診療につなぐ医療提供体制の充実に取り組んでまいります。

### ■ 落雷事故防止対策について

**質問**

広島市立の学校での落雷事故防止対策をどのようにお考えなのでしょうか。

**答弁**

落雷事故は児童生徒の命にかかる事であり、今後も、学校に対し、継続的に落雷事故の防止に向けた注意喚起を行うとともに、雷レーダーなどの観測機器や落雷リスクに特化した民間情報サービスも含め、他都市における取組状況などを調査研究してみたいと考えています。

トピック

**軌道系交通手段等は日進月歩**

自走式ロープウェイ  
**Zippar**

一般質問で新しい交通手段の紹介をさせて頂きました。

**ZIPPAR とは**

路線バスとモノレールの間を埋めるZIPPAR。例えばアストラムラインの延伸は7.1kmで単線で760億円かかるとされています。11年後の総工費は如何になるのか? ZIPPARは資料によると、工事費は15億円/km、輸送能力は3,600人/h、登坂勾配10%、工事期間は新交通の1/10、用地買収も殆どなく自動運転で運転手不足にも対応、**都市の交通渋滞・バスの運転手不足**という地域の交通課題を解消します。

11年後に完成予定のアストラムラインですが、諸事情による工期延長の可能性は大いにあると考えられます。7、8年後の実用化を目指しているZIPPARへの期待は大きくなっています。全国の都市や海外でも注目されているようであり、調査費を付けている自治体もあります。如何でしょうか。